きりしま

情報をお寄せください
都城支社 ☎0986㊐0659 FAX 0986㊐2940
小林支局 ☎0984㊐2226 FAX 0984㊐5200
えびの支局 ☎0984㊐0350 FAX 0984㊐0511

都城 平均視力が1.74に

宮田眼科病院 最先端の矯正手術

都城市の宮田眼科病院（宮田和典院長）は国内最先端の視力矯正手術「ウエーブフロントガイデッドレーシック」を半年前から手掛け、百例以上の実績を上げている。九州でも実施している病院は少ないため、視力回復を求める患者が県内外から訪れている。

「ウエーブフロント」は角膜の一部を切除して屈折を変える屈折矯正手術の一つ。これまでは角膜を薄くはぎ、ふた状にめくった内側をレーザーで切除し、はいた部分を戻す「レーシック」が主流だった。「ウエーブフロント」は方法は同じだが、患者の角膜の形状を別のレーザーで計ってデータを記憶させた上で切除するため、個人の目に合った微調整ができる。

角膜の形状を解析するレーザー照射機

同病院の症例では、術後一カ月の平均視力はレーシックが一・五八、ウエーブフロントが一・七四（いずれも手術前視力〇・〇六）と高い。また、角膜に凸凹があるため手術ができないといわれていた不正乱視も治療可能になった。

宮田院長は「三十六時間、目に海用感があるだけで視力が回復する。今後、視力矯正の手術はウエーブフロントに変わっていくだろう」と話している。